

跡見学園女子大学  
人文学フォーラム

執筆者紹介 (敬称略)

石田 信一 ISHIDA, Shinichi (教授/西洋史・ヨーロッパ地域研究)

植田 恭代 UETA, Yasuyo (教授/日本文学)

小川 忠 OGAWA, Tadashi (教授/国際文化交流論)

剣持あずさ KENMOCHI, Azusa (准教授/西洋美術史)

柴田 眞美 SHIBATA, Mami (教授/日本画・臨床美術・美術解剖学)

真辺 美佐 MANABE, Misa (准教授/日本近現代史)

水谷 長志 MIZUTANI, Takeshi (教授/図書館情報学)

峰松 和子 MINEMATSU, Kazuko (准教授/第二言語習得・英語教育)

茂木 一司 MOGI, Kazuji (教授/美術科教育)

共著者：竹丸草子 TAKEMARU, Soko (長岡造形大学大学院/美術科教育)

大内 進 OOUCHI, Susumu (星美学園短期大学日伊総合研究所客員研究員/視覚障害教育)

森谷裕美子 MORIYA, Yumiko (教授/文化人類学)

横田 恭三 YOKOTA, Kyozo (教授/中国書道史)

編集後記

第二十号をお届けします。

本年度も引き続きコロナ禍の影響により、多くの活動が制限される中、オンライン等を活用して教育と研究が継続され、この人文学フォーラムも無事に発刊の運びとなりました。今号では、「美術が拓く」というテーマのもとに四編の特集論文と、五編の論文、一編の研究ノート、書作品一作品をお寄せいただきました。表紙には、茂木一司教授のご紹介で落合葉津子氏の「蠟燭」を掲載させていただきました。作品の背景について、茂木教授にご解説いただきました。

本年度三月をもちまして、泉雅博教授が定年での退職となります。長年にわたり熱意にあふれた教育と研究をなされ、ご尽力されましたことに心より敬意を表します。また、これからのご健康と益々のご活躍をお祈り申し上げます。

最後に、今号に完成にお力添えくださいました皆様にご心から感謝を表します。伝統があり、さらにこのような新しい時代にも影響力のある「人文学」という分野がさらに発展していくことを願います。

(編集担当)